

# 10/27 総決起集会へ総結集せよ

## ＝17時30分 千鉄局前＝

日刊 動労千葉

80.10.22

No. 563

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）三五八〇九・（公衆）四五五（22）七二〇七

### 乗務員運用合理化攻撃粉碎へ全力で決起しよう

動労千葉は、十月十五日、第十回支部代表者会議で乗務員運用合理化阻止へむけた取り組みを決定し、闘いに突入した。

時あたかも、十月十七日午前九時三十分頃国電中央線大久保～東中野間で追突事故が発生し、当該乗務員は、不当にも「業務上過失致傷」「往来妨害罪」で国家権力に逮捕・拘留された。マスコミは、またもや「乗務員のタルミ事故」なるキャンペーンを行なっている。

われわれは、当該運転士が他労組所属であっても黙視することはできない。真の事故原因は、われわれが船橋事故闘争以来指摘してきた当局の合理化施策、そして過密ダイヤにあり、その過密ダイヤを維持するための無閉そく運転の強要にある。それは起るべくして起った事故なのであり、当該運転士への事故責任を転嫁することは断じて許すことはできない。

今日の乗務員運用合理化は、乗務員に、この事故に見られるように「死か牢獄か」の状況をより強化する攻撃であり、動労東京革マル分子による乗務員運用合理化に卒先協力Ⅱ「九月裏切り妥結」強行は犯罪的行為といわなければならない。

#### 明白な「本部」反動分子の裏切りノ

動労東京革マル分子による「九月裏切り妥結」は、極めて反労働者的であるがゆえに日がたつにつれてその犯罪性がより鮮明になっている。

乗務員運用合理化強行を迫る国鉄当局の狙いは「乗務員運用効率を一九六九年のレベルにもどす」ということであり、これを「五六・一〇／五七・三」までに全国化するという、三五万人体制攻撃の一環である。この当局の意図を充分知りつつこれに対決する方向でなくむしろ積極的に容認し、当局提案の前に「要員吐き出し論」をもって卒先協力を表明し、当局と連合して全国化への先がけの役割をはたすという裏切りがその第一である。

第二に、妥結内容たるや「東京だけがよければよい」という姿勢に貫かれた国鉄当局の組織分断攻撃を卒先して受け入れ、それに手を貸すという行為である。前述したように、本来、乗務員運用合理化問題は、この攻撃の性格上、全国闘争課題としておし上げ総力をあげて闘うべきものである。それをペテン的に地方課題として切り縮め、乗務員運用合理化の全国化への役割をかつて出、組合員からの批判逃がれの為に、若干の旅費アップで「十年来かちとった成果」を売り渡したのである。

#### 総決起し動労千葉の闘魂を示そうノ

十一月一日強行実施粉碎ノ！

東京が妥結したことを唯一のデコに国鉄当局は千葉局における十一月一日強行実施に異常なまで



9.5 千葉鉄局前 総決起集会。

の決意と敵意をむき出しに攻撃を加えてきている。「国鉄は赤字であり、企業努力をしなければならぬ」というのは口実であり、「五六・三を前に動労千葉をツブす」という階級的憎しみをこめた組織破壊、闘争圧殺策動であることは明白である。

さらに、この攻撃が、「乗務員運用合理化の次は検修一万名民託化」という形で三五万人体制攻撃として次々とかけられてくる攻撃の一環であることは明白である。

全組合員のみなさん。

以上のように、いまや乗務員運用合理化は「五六・三」を前に避けて通れない課題となっている。であるならば、この攻撃を正面から受けてたち全組織をあげて粉碎しよう。

一〇・二七局前総決起集会に総結集せよノ

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよノ